

令和7年度 ～とちぎの未来を考える～ 栃木県議会 県政ミーティング
開催結果報告書（概要）

令和8年2月10日

1 開催の目的

とちぎの未来を担う子どもたちに議会に対する関心を高め、理解を深めてもらうための主権者教育の一環となるよう実施するものである。

2 開催概要

(1) 県立鹿沼東高等学校

ア 日 時 令和7年7月14日（月曜日）10時50分から11時40分まで

イ 場 所 鹿沼東高等学校 大会議室

ウ 出席者 鹿沼東高等学校：生徒 3年生約70名

県議会：池田忠議長、琴寄昌男副議長、山田みやこ議員、横松盛人議員、
塩田ひとし議員、平池紘士議員、加藤雄次議員、岡部光子議員、
湯澤英之議員

エ 内 容 自己紹介、県議会の役割・取組の紹介、意見交換など

○意見交換における生徒の主な発言（テーマ「私たちが拓く栃木県の未来」）

- ・人口減少の原因は、転出後に地元に戻ってこないことだと思うので、何か政策はあるか。
- ・商業施設の誘致が県の活性化につながると思うので、積極的な誘致と併せて地産地消の取組もお願いしたい。
- ・空き店舗は、マイナスのイメージだと思うので、空き家・空き店舗を活用することについて意見を伺いたい。



(2) 県立真岡工業高等学校

ア 日 時 令和7年10月29日（水曜日）11時から11時50分まで

イ 場 所 真岡工業高等学校 体育館

ウ 出席者 真岡工業高等学校：生徒 2年生約150名
県議会：池田忠議長、琴寄昌男副議長、岩崎信議員、山形修治議員、
野澤和一議員、石坂太議員、大木英憲議員

エ 内 容 自己紹介、県議会の役割・取組の紹介、意見交換など

○意見交換における生徒の主な発言（テーマ「私たちが拓く栃木県の未来」）

- ・少子化が進んでおり、どのような少子化対策をするのが効果的だと考えるか。
- ・気温上昇が続いており、熱中症対策として学校体育館へのエアコン設置を進めていただけないか。
- ・交通のバリアフリー化などの課題に対し、どの程度予算を割いているか。

3 県民への情報発信

(1) 県議会広報

- ・県議会公式X、テレビ番組「県議会ハイライト」、広報紙「県議会とちぎ」での情報発信
- ・本館15階企画展示ロビー、県立図書館展示スペースでの展示

(2) メディア

下野新聞、とちぎテレビ、RADIO BERRY

(3) その他

総務省「主権者教育だより」への掲載



4 アンケート結果

問1 議会の取組の説明について

説明は分かりやすかったですか。

回答項目	鹿沼東高校	真岡工業高校
分かりやすかった	50.85%	41.74%
やや分かりやすかった	35.59%	28.69%
普通	11.86%	26.96%
やや分かりにくかった	1.70%	0%
分かりにくかった	0%	2.61%

問3 県議会及び県議会議員について

県議会及び県議会議員を身近に感じることができるようになりましたか。

回答項目	鹿沼東高校	真岡工業高校
感じられるようになった	55.93%	33.91%
やや感じられるようになった	37.29%	43.48%
変わらない	5.08%	16.52%
あまり感じられなかった	1.70%	3.48%
感じられなかった	0%	2.61%

自由意見（抜粋）

鹿沼東高等学校

- 県の課題を身近に感じることができた。
- 議員との交流により、堅いイメージの議会がより身近に感じられた。
- 政治、選挙に興味を湧いた。
- 生徒の質問に真摯に答えようとしてくれる姿勢が好印象だった。

問2 意見交換について

栃木県の将来や政治への参加について、興味・関心は高まりましたか。

回答項目	鹿沼東高校	真岡工業高校
高まった	59.32%	36.52%
やや高まった	35.60%	43.48%
変わらない	5.08%	20.00%

問4 県議会議員を身近に感じられるための情報について

県議会議員について、このような情報を知れば、より身近に感じられるという情報を教えてください。

回答項目	鹿沼東高校	真岡工業高校
趣味	49.16%	66.96%
得意なスポーツ	6.78%	11.30%
好きな食べ物	6.78%	6.09%
好きな芸能人	15.25%	4.35%
好きな漫画	15.25%	7.82%
その他	3.39%	1.74%
無回答	3.39%	1.74%

真岡工業高等学校

- 県についてよく考えるようになった。
- 今まで県議会に関心がなかったが、県議会や政策を調べてみようと思う。
- 色々議論があった中で、とても自分の身になった。
- 自分の意見を議員に伝えて、答えをもらえたことはよかった。

5 参加議員の感想

(1) 鹿沼東高等学校

- 山田議員 人口減少問題、住みやすい環境づくり、観光資源の地域格差など、将来の栃木を何とかしたいという思いが見えました。さらに、人とのコミュニケーションが希薄になっていることへの危機感を持ち、人との交流を深くして、つながり安心をつくる必要があると期待できる若者像を感じました。
- 横松議員 若い高校生との意見交換は、大変有意義でした。できることならば、もっと時間がほしかったです。
- 塩田議員 若い人達に自分の住んでいる町の行政がどのように運営されているのか知ってもらうことは、とても意義があることだと考えます。実際に会って言葉を交わし、意見を交換することは、同じことをスマホで検索したのでは得られない気付きが双方にあると感じました。
- 平池議員 高校生世代の流行を知ることができました。また、このミーティングをひとつの機会として県内の社会的課題などについて、それぞれが具体的に勉強していることもしっかり伝わってきました。大変実りある取組だと認識します。
- 加藤議員 高校生にとって、県政や県議会に対する関心を高める良い機会であると思います。また、若い世代の柔軟な発想に基づく県施策に対する提案があり、議員自身も新たな気付きを得ることができたため、意義のある取組だと思います。
- 岡部議員 「栃木県が好きです」「沢山の観光客に来県してほしい」「スイーツパラダイスを作ってほしい」「進学・就職支援をもっと手厚く」など、和やかな雰囲気の中にも真剣に未来を見つめる高校生ならではの視点を肌で感じ、貴重な経験をしました。この機会に更に県政に興味を持って頂き、私たち議員も若い世代と共に知恵を出し合い、より良い栃木県を築いていきたいと思っています。
- 湯澤議員 生徒さんと意見交換ができてとても嬉しかったし、高校生との会話の中で、新たな視点を持つことができ、有意義な時間でした。今回をきっかけに、高校生の意見を大事にした活動を取り入れていきたいと思っています。

(2) 真岡工業高等学校

- 岩崎議員 県議会県政ミーティングを真岡工業高校で開催でき、多くの生徒の皆さんと率直な意見を交わせたことは、大変意義深い時間となりました。学校の設備や地域の課題、人口減少など現場でしか聞けない生徒さんの生の声を伺うことができ、今後の政策の改善にしっかり生かしていきたいと感じました。若い世代が自分の未来だけでなく、地域の未来について真剣に語る姿に栃木県の将来への大きな希望を感じました。
- 山形議員 あまりかしこまらずにできる演出は、良かったと思います。身近に感じていただけたのでは無いでしょうか。これを

- きっかけとして、地域の課題を学び自分ごととして捉え、たくましく生き抜く力を身につけてほしいと感じました。
- 野澤議員 参加された生徒の皆さん、最後まで県政ミーティングに集中していた姿に感動しました。若い人たちから頼られる県議会にしたいと決意を新たにしました。ありがとうございました。
- 石坂議員 県議会ナビゲーターの永井さんの司会のもと、あまり肩肘を張らない雰囲気づくりを進めて頂き、高校生も私たちもあまり構えることなく、素晴らしい機会であったと感じます。
- 大木議員 この度は、高校生と一緒にとちぎの未来を考える貴重なミーティングに参加することができました。高校生からは、率直な意見から夢のある政策まで貴重な意見を伺うことができました。若い人たちにも政治や議会を少しでも身近に感じて頂けたら嬉しいです。

6 まとめ

本年度の県政ミーティングは、県立鹿沼東高等学校と県立真岡工業高等学校で開催し、生徒と議員が直接意見を交わす場となった。人口減少や少子化、観光振興、空き家対策、交通環境整備など幅広い課題が取り上げられ、議員は現状や施策を説明するとともに、若者の率直な視点を歓迎した。生徒からは「政治を身近に感じた」「意見を伝えられて良かった」などの声が寄せられ、議員にとっても新たな気づきを得る機会となった。

こうした交流は、若者が主権者としての意識を育み、議会が県民の皆さんに開かれた存在であることを示す重要な取組である。

今後も、学校や生徒の声を踏まえながら内容を工夫し、より効果的で実感を伴う学びの場へと発展させていくことが期待される。